

NPO 法人あったかサポート
2016年春季連続セミナーのご案内

「これからの社会保障制度のあり方を問う」 —子育て支援と年金・医療・介護保険制度を中心に—

今年に予定される参議院選挙、その争点の一つとなるべき年金をはじめとした社会保障制度。しかし、政府は年金額の少ない人に一律30,000円の支給金を支給するということですが、それでは消費税10%に伴う年金制度改革は遠のくばかりです。

そこで今春季連続セミナーでは、「格差と貧困」の拡大に伴い社会保険から排除された勤労者とその家族の生活を直視し、その上で住宅や子育て・教育をも含めた私たちの安心と幸福をもたらすべき社会保険を含めた社会保障制度のあり方を展望することにします。



第1回 3月26日(土)

講師 柴田 悠(立命館大学)

テーマ 「社会保障は私たちに幸福をもたらすか？」

若者の間には、年金をはじめとした今の社会保障制度への信頼が急速に揺らいでいます。それは社会保険料を納める典型雇用を前提にしてきたからですが、それが保障されない時代に社会保障制度への信頼を取り戻すためには、どうすべきか。エビデンスに基づいた若き研究者の前向きな提案をお聞きます。



第2回 4月9日(土)

講師 高瀬 高明(共同通信・論説編集員)

テーマ 「国民健康保険など医療保険制度改革の現状と課題」

およそ2割の世帯が未納という国民健康保険。中小零細企業からなる全国健康保険協会への政府支出が抑制され、後期高齢者は増えるばかりの健康保険制度。今後TPPの合意による医療保険制度の規制緩和が進めば、その行く末は見えない。誇るべき日本の医療保険制度、その危機の真相を探ることにします。



第3回 4月23日(土)

講師 中野 博美(きづがわ病院理事長)

テーマ 「今日の医療・介護事業における経営の現状と課題」

医療や介護の仕事に、募集をかけても若者が集まらない。その事業に働く労働者の処遇を高めると言いながら、他方で政府は社会保障費を抑制するために医療点数を下げるといふ。二律背反する政策の下で現場の事業経営者は、どのように現状を把握し、苦悩し、改革しようとしているのかをお聞きます。

主催：NPO 法人あったかサポート
問合せ先：電話 075-352-2640
申込方法：FAX 075-352-2646
メール：attaka-support@r6.dion.jp

会場：ひとまち交流館京都
京都市下京区河原町5条下がる 東側
参加費：各回 1000円
開始時間：18時15分

参加のお申し込みは、下記に必要事項をご記入のうえ、
FAX またはメールでお送り下さい。

FAX ： 075-352-2646

E-mail： attaka-support@r6.dion.ne.jp

春季セミナー参加申込用紙

参加希望箇所に○をつけて下さい

回	第1回	第2回	第3回
日 時	3月26日（土） 18：15開始	4月9日（土） 18：15開始	4月23日（土） 18：15開始
参加に○			

※参加費 各回 1000円

参加者氏名
住所 〒 -
TEL
E-mail